

みやはら耳鼻科通信

発行/ 医療法人 南輝 〒702-8034 岡山市南区福浜西町6番17号 ☎086-237-4133

木曜日の診療開始！
診療時間 8:00～12:30

LINEでお得なクーポン
配信！登録はコチラ⇒



診察してはいていて気になる病気

診察をしていて「これは大変だな…」と思ったりすることが時々あつたりします。今月号はそういった事例についてご紹介したいと思います。

まず「**運転してて事故しそうになった**」というお話です。お**仕事で運転**することが必要な方はたくさんおられると思います。そういう方にとって事故をすると言うのは非常にまずいことであり、さらには運転できなくなると仕事ができるできない直結するという切羽詰まった状況になります。

そういう方たちにとって体調が悪くて運転に集中できない状況は非常に危険です。そして全く自覚症状がないところで重い病気にかかっている運転自体が非常に危険なことすらあるのです。

それはどんな病気かといいますと「**睡眠時無呼吸症候群**」です。これは「寝不足」とかではなく寝ているときに呼吸が止まってしまって体の負担が強くなり脳も寝ている間に休むことができず、体も脳も非常に調子が悪くなる病気です。



みやはら耳鼻科 公式チャンネル

耳鼻咽喉科専門医が
日常に役立つ情報を配信中！



そして困ったことに患者さん自身は意識することがほとんどありません。「日中の眠気があったりする」といったレベルですが実は脳が十分に機能していないため「不注意で」仕事のミスを繰り返したり、車での事故を繰り返したら良いといった大変困った状態になったりします。

最近はこの病気もだいぶ認知されてきているのですが、大きな誤解があります。それは「**睡眠時無呼吸症候群と診断されたら運転ができなくなり、今している仕事ができなくなる・・・**」ということです。もちろん、睡眠時無呼吸症候群を治療せずにクルマの運転をすることは危険です。

ただし、「きちんと治療」すればクルマの運転をしたり、今までの業務をすることは問題ありません。治療自体も軽症であれ重症であれ、「**眠っている間に治療**」をするので仕事の邪魔になることもありません。

問題は、さきほど申し上げたように患者さん自身が病気を自覚しにくい点です。これは「日中の眠気」以外に家族やパートナーの方に「寝ている時に息がとまっていないか」ということだけでなく「いびきをかいていないか」ということを聞かれるのがいいです。**睡眠時無呼吸症候群は多くの場合、いびきをかいていることも多い**のです。

睡眠時無呼吸症候群は日本人の40代以降の男性の半数があるといわれています。そのため、仕事がクルマの運転が主体の方でなくても、ご家族やパートナーからいびきがうるさいと指摘されている方もぜひ睡眠時無呼吸症候群が潜んでいないか受診をお勧めします。

この病気が気になる方は以下のQRコードをご覧ください。

睡眠時無呼吸症候群

この病気は要注意！

心臓や脳などの重い病気
注意力低下で交通事故を
起こしやすいです。

当院の検査や治療のメリット

自宅で検査や治療が可能です。
病院へ通院する必要はありません。
治療開始後**すぐに**病気の改善が可能！

詳しくは
コチラ



お子さんから大人の方まで9月以降、「**鼻血がよく出るんです**」というご相談を受けることが増えてきました。鼻血というのは、**アレルギー性鼻炎**（以下**鼻炎**と略）や**花粉症**でよく起こります。

そうすると、鼻炎や花粉症と気づかず、悩んで受診され、はじめて「自分は花粉症だったんだ・・・」と知る方も多いです。鼻炎や花粉症では透明なさらさらした鼻水やくしゃみが繰り返しでるのですが、抗アレルギー剤を服用するとコントロールできます。

そして、鼻炎や花粉症としての症状で透明な鼻水やくしゃみや鼻づまりが軽い、あるいは以前からで慣れっこになっていてそれほど気にされていない場合、患者さんが気づく症状が「**鼻血だけ**」だと「ひたすら鼻血」を繰り返すことになります。

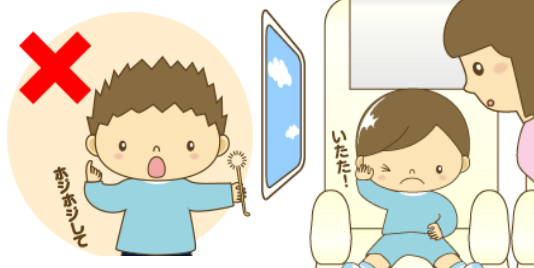
なぜなら、鼻炎や花粉症の症状は鼻カゼと違ってだらだら続きますので鼻血も同様に繰り返しでることになるのです。そうすると「30分以上鼻血が止まらないんです、悪い病気でしょうか???'といった心配につながっていきます。

今までに喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性結膜炎といったアレルギー体質を指摘されている方は鼻血で困るようであれば、それは「**アレルギー性鼻炎が鼻出血の原因**」です。当院では「30分でわかるアレルギー検査」もおこなっておりますので、アレルギーが気になる方は**このQRコードから検査についてご覧ください。**



耳そうじなんでもサイト

耳そうじが大好きな方、
耳そうじのトラブルで
お悩みの方、必見！
耳そうじの全てをご紹介！



「**頭痛**」で困っている方はおられませんか？最近、「頭痛でMRIとってもらったら**ちくのう症**だから耳鼻科を受診するよ」といわれました」という方が何人かおられました。

ちくのう症は鼻の奥の副鼻腔（ふくびくう）に膿（うみ）がたまる病気です。症状がいろいろある病気で、「鼻力ゼ」と思って様子を見てよくなる・・・といった場合にはこの病気の可能性があります。

どんな症状があるかといえますと、



黄色い鼻水、鼻づまり、頭の重い感じ、目の奥の痛み、上の歯の痛み、歯の浮いたような感じ、そして**頭痛**です。

ちくのう症は昔は手術しかありませんでしたが、今は飲み薬で治ります。

ただし、骨で囲まれている空洞に潜んでいる鼻水のばい菌を殺すため、ばい菌を殺す抗生物質というのを量を減らしながら1か月のんびりしないと治りません。

診断にはレントゲンをとって、鼻の奥の空洞をチェックする必要があります。

「もしかして、ちくのう症？」と思った方はこのQRコードから病気についてご確認ください。治療をすれば頭がすっきりしますよ♪



鼻づまりなんでもサイト

鼻づまりはいろいろな病気でおこります。鼻呼吸は体に非常にいいので、鼻づまりは早く解消してしまいましょう！

